

『ディア・ハンター』 原題 <i>The Deer Hunter</i> 1978年		執筆：清水 純子
制作国	アメリカ	
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	<p>スタッフ：監督マイケル・チミノ、脚本デリック・ウォッシュバーン、原案マイケル・チミノ、デリック・ウォッシュバーン、ルイス・ガーフィングルクイン・K・レデカー、製作マイケル・チミノ、バリー・スパイクキングス、マイケル・ディーリー、ジョン・リヴェラル</p> <p>キャスト：ロバート・デニーロ：ロマイケル / クリストファー・ウォーケン：ニック / ジョン・サヴェージ：スティーヴン / ジョン・カザール：スタンリー / メリル・ストリープ：リンダ</p>	
画像		
カラー・モノクロ	カラー	
時間	183分	
ストーリー	<p>1960年代ピッツバーグの製鉄所で働くロシア系の若者、マイケル（ロバート・デニーロ）、ニック（クリストファー・ウォーケン）、スティーヴン（ジョン・サヴェージ）はベトナム戦争に徴兵される。スティーヴンは、参戦する直前にアンジェラと結婚式をあげ、ニックはリンダ（メリル・ストリープ）にプロポーズして受け入れられる。3人はベトナム軍の捕虜になってロシアン・ルーレット（リボルバー式拳銃に一発だけ弾薬をこめて、自由にシリンダーを回転させて自分のこめかみに向けて引き金を引くゲーム）の餌食にされる。鹿撃ちの名手マイケルの気転によって3人はベトナム兵を殺して脱出する。正気を失ったスティーヴンは本国に送還されるが、両脚と片手を失って車椅子で療養生活をする。負傷したニックはマイケルに助けられてサイゴンの野戦病院で手当てを受けるが軍隊を脱走して、サイゴンの場末でロシアン・ルーレットのプレーヤーになっていた。勲章をもらって帰国したマイケルは、サイゴン陥落が近いことを知ってニックのために自らの命をかけるが、人が変わったようになったニックはマイケルの気持ちを無視してゲームを続け、こめかみを打ち抜いて死ぬ。ニックとの約束を守ってマイケルは、ピッツバーグで盛大な葬儀を行う。葬列者はアメリカの栄光を讃え、ニックの魂の平安を祈る。</p>	
時代設定	1960年代末期	
場所	アメリカのピッツバーグ、ベトナムのサイゴン、陥落直前のサイゴン。	

社会背景	ベトナム戦争（1960~75）、帰還兵、戦争による帰還兵のトラウマ、戦争に参加したアメリカの社会不安。
文化的背景	ベトナム戦争に参加した兵士だけでなく、待つ人々の心もむしばまれ、社会不安と不満が広がる。
使用言語	英語、ロシア語、ベトナム語、フランス語
テーマ	ベトナム戦争に参加したアメリカの3人の青年の生と死、過酷な戦争体験によるトラウマ、友情の尊さ、救えない命。
みどころ	戦場での常軌を逸した人間の心理状態、危険を顧みずに仲間を救おうとする勇気と友情、ロシア正教会、ロシア系アメリカ人の風俗習慣。
印象深いせりふ	God bless America. [All] Land that I love. And guide her . Through the night. With the light from above. From the mountains . To the prairies. To the oceans . White with foam . God bless America . My home sweet home. God bless America. My home sweet home. Here's to Nick. - To Nick. [All] To Nick. [All] To Nick.
授業教材用 メリット	戦争の無常と残酷さと、戦争が人々の心に与える傷(トラウマ)を教える、友情の尊さ。
授業教材用 デメリット	命を軽くみた無謀なロシアン・ルーレットの場面がたびたび出てくる。上映時間が長い、名作であっても日本の学生には中だるみに見える可能性がある。
映像入手元	ジェネオン・ユニバーサル/ NBC ユニバーサル・エンターテイメントジャパン
原作の有無	無
支持反応	metacritic 評価（批評家 73、観客 7.3） Rotten Tomatoes 評価（批評家 94、観客 92）
キーワード	ベトナム戦争、サイゴン、帰還兵、トラウマ、ロシアン・ルーレット、リヴォルヴァー、ロシア正教会、ロシア民謡。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。